令和7年度広島県における料理人集積業務委託仕様書

1 委託業務名

令和7年度広島県における料理人集積業務

2 事業の目的

広島県では、食文化の発展と「広島は美味しさの宝庫である」というブランドイメージの構築に向けて、「おいしい！広島」プロジェクトに取り組んでいる。本事業では、その食文化を支えるのに必要不可欠な料理人という仕事の魅力を次世代に伝え、将来の料理人を発掘する。また、消費者が県内の料理人が作る料理を目的に来県するためには、料理人としての技術力に加え、ひろしまの食文化や歴史に精通し、料理人としての哲学を持った料理人の存在が求められることから、それらについて学ぶ機会を提供する「ひろしま食文化アカデミー」を開講する。また県外で活躍する料理人に、広島県の魅力を発信し、体感してもらうきっかけを提供することで、県内における開業意欲を促進する。特に首都圏等で活躍する広島県出身の料理人や広島県に縁のある人に積極的にアプローチすることで、広島県にUターン、Iターンする機会の創出にも繋げていく。これらの取組を包括的に実施することで、広島県に誘客力のある料理人が集積することを最終目的とする。

3 委託期間

契約締結の日から令和8年2月27日（金）まで

4 委託業務の内容

本事業を実施するにあたり、下記3つの柱に沿った企画を実施することとする。

【1】将来の料理人育成

(趣旨) 料理人という仕事の魅力を次世代に伝え、将来の料理人を発掘する

①多様なメディアの活用

テレビや雑誌、WEB等の複数のメディアを活用し、県内の小学生と中学生を対象に料理人の魅力を周知することが可能な情報発信を行うこと。

②世代別アプローチ

本事業では対象を県内の小学生・中学生としており、それぞれの年齢を考慮した企画とすること。なお学校に出向いて実習を行う出前講座は実施済みのため、提案対象外とし、対象者が実際に対面で料理人とふれあう機会の創出をすること。

③活用する料理人

平成26年より続くひろしま料理人コンクールの成績優秀者を活用するなど、対象とする世代に年齢が近い、若手料理人を積極的に活用すること。

④ガイドブックの作成

本事業では成果物の1つとしてガイドブックの作成（データのみ）を必須とし、料理人の魅力や、料理人になるための方法がわかりやすくまとめられたガイドブックにすること。なお対象は中学生とする。

【2】ひろしま食文化アカデミーの企画・実施

（趣旨）ひろしまの食文化や歴史、サービスや料理人としての哲学等を包括的に学ぶ機会を創出する

①講座

「ひろしま食文化アカデミー」は全4回の構成とする。多忙な料理人のニーズに合わせて視聴できるように、コンテンツは全4回分オンライン化すること。また、1回以上は広島県内における対面でのカリキュラムを設定すること。

②受講者

応募型とし、対象は県内料理人とする。ただし、県外からの申し込みがあった場合は受講可能とする。

③テーマ設定

技術研鑽の他、サービスや料理哲学、飲食業界における最新のトレンドなど、料理人が刺激を受けられる内容とすること。またテーマ設定については、専門家等へのヒアリングを実施し、料理人が実際に求めている内容とすること。

④講師の選定

講師については県内外より、専門家を選定することとし、提案時にはその選定理由も明記すること。専門家の旅費や報酬についても、事業費から支出すること。なお、講師の最終選定は委託者と協議の上確定させること。

⑤教材化

「ひろしま食文化アカデミー」のすべてのコンテンツを今後も活用できるよう、各講座の概要をまとめて教材化すること。

【3】首都圏等の料理人誘致

（趣旨）首都圏等で活躍する広島県出身の料理人や広島県に縁のある料理人を誘致する

①首都圏等の「誘客力のある料理人」に情報が届く企画であること。

②①のうち、広島県出身や縁のある料理人に積極的にアプローチするための手法を記載し、その結果得られた情報をリスト化して提供すること。

③本事業では成果物の1つとして開業に関するガイドブックの制作を必須とし、広島県で開業する際のメリットや、具体的な開業の流れをまとめた構成案を記載すること。なお完成版については100部印刷し、紙媒体として提出するとともに、データを提供すること。

④実際に情報を受け取った料理人が、広島県の魅力を体感するとともに、開業後のイメージがわか内容盛り込むこと。

【4】自由提案

※提案書に基づき追記します。

5 成果目標

※提案書に基づき追記します。

6 実績報告等

- ・委託者は、受託者に対して委託業務の進捗状況等について必要な事項について中間報告を求め、または実地に調査することができることとする。
- ・受託者は、委託業務を完了したときは、下記のとおり業務完了報告書および実績報告書を提出することとする。

(1) 業務完了報告書

(2) 実績報告書

ア 報告内容：実施内容、成果（掲載媒体などの報告）、プロモーションコンテンツ一式、実施内容の分析・考察、事業を通じて発現した課題、次年度以降に実施が有効と思われる手法、経費の精算など

イ 提出期限：事業完了の日から起算して 20 日以内

ウ 様 式：任意様式

7 業務実績報告書等の納入場所

広島県商工労働局観光課

8 業務の遂行について

- ・委託業務の内容の詳細や実施スケジュール等は、委託者からの提案内容に基づき、委託者と受託者で協議の上、決定する。
- ・業務の遂行にあたり、連絡調整者を1名以上配置すること。その他、業務に係る実施体制について、体制図をもって報告するとともに、実施スケジュールを委託者に提出すること。
- ・業務の遂行にあたり、委託者から指示のあった関係機関等と連携すること。

9 留意事項

(1) 機密保護・個人情報保護

- ・本業務の遂行上、知り得た秘密を他に漏らさないこと。
- ・本業務の遂行のために委託者が提供した資料、データ等は業務以外の目的に使用しないこと。

- ・発信する情報の適正性、妥当性の確保や個人情報の保護に留意すること。
- ・本業務の実施における個人情報等については、取扱いの重要性を十分認識し、個人の権利利益を侵害することのないよう必要な措置を講じること。
- ・本業務に従事する者に対して個人情報保護の指導を行うこと。
- ・成果物（本業務の過程で得られた記録等を含む）を委託者の許可なく第三者に閲覧複写、貸与または譲渡しないこと。※この項については、契約期間の終了または解除後も同様とする。

（２）法令等の遵守

受託者は、本業務の遂行にあたっては、次にあげる法令等を遵守しなければならない。

- ・個人情報保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）
- ・広島県個人情報保護条例（平成 16 年 12 月 17 日条例第 53 号）

10 その他

- ・本業務の履行に際し必要な素材は受託者が調達し、使用する著作物については肖像権、著作権、商標権、その他諸権利を侵害しないよう、事前に許可や承認を得るなどの必要な手続きを行うこと。当該手続きに係る費用については、委託料に含むものとする。また、知的財産権に関する問題が生じた場合には、受託者の責任において、これを処理すること。
- ・本業務の実施によって得られた動画や写真は、業務終了後も広島県ホームページ等において使用することがあるため、その旨を出演者等に事前に承諾を得ること。
- ・成果物に関する著作権は、委託者に帰属するものとし、委託者および委託者が認める団体等が行う他の媒体等での活用を妨げないものとする。
- ・受託者が本業務を再委託しようとする場合は、事前に再委託範囲および再委託先を委託者に提示し、承諾を得なければならない。また、本業務の全部を一括して第三者に委託することは認めない。なお、再委託の範囲は、受託者が責任を果たせる範囲とし、再委託先に問題が生じた場合は、受託者の責任において解決することとする。
- ・受託者は、委託業務にかかる経費の収支を明らかにするため、これに関する帳簿および証拠書類を整理するものとし、委託業務の完了の日の属する年度の終了後 5 年間、これを保存すること。
- ・その他、委託業務の遂行上必要と認められるもので、この仕様書に定めのない事項が生じた場合およびこの仕様書に関して疑義が生じた場合は、委託者と受託者が協議の上定める。